

文部科学省 私立大学戦略的基盤研究形成支援事業

「優良和薬の確保・供給のための研究」キックオフシンポジウム報告書

日時：平成27年11月12日（木）15：30～18：10

場所：京都薬科大学 A21 講義室(愛学館2階)

参加者数：135名

本キックオフシンポジウムは、今年度文部科学省私立大学戦略的基盤研究形成支援事業に採択された「優良和薬の確保・供給のための研究」課題の遂行にあたり、参画する全ての研究者の意識の統一を図るとともに、各研究者の連携による新たな共同研究体制構築の契機とすることを目的として企画された。本プロジェクトでは、国産生薬として当帰、柴胡、甘茶、延命草などの基原植物の栽培、生薬の有効成分群および薬効の証明を行うことにより、優良品種の選別と栽培技術を確立し、地域での生薬生産の推進に貢献することを目的としている。具体的には、品種や産地別の生薬の成分分析と薬効評価を行い、化学分野における多変量解析であるケモメトリックスにより単一の有効成分のみならず、有効成分群の解明と優良品種の選別方法の確立し、本学薬用植物園が保有する薬用植物の栽培技術を応用することによって、生産地への優良品種の育種の指導や種苗の提供を目指している。また、本学が保有する生薬標本は明治期まで遡ることができ、貴重な遺伝子資源となっている。現在の市場品と時系列で比較することによって、かつて流通していた生薬との同等性を明らかにすることができると考えている。



キックオフシンポジウム当日には、開会に際して、後藤直正副学長から本プロジェクトの意義や本プロジェクトへの期待を開会の辞としてご挨拶いただきました。後藤副学長に続き、本プロジェクトの研究代表者である松田久司教授が、本プロジェクトの概要ならびに本プロジェクトがめざすものをイントロダクションとして講演を行いました。次に臨床薬理学分野の中田徹男教授が生活習慣の改善、特に食事の改善による高血圧治療についての講演を行い、続いて、学外共同研究者として参画していただいている近畿大学 森川敏生教授にご講演いただきました。森川先生には国内栽培が可能な生薬のうちの数種の頻用生薬の含有成分ライブラリーの構築およびその伝承薬効に基づいた生物活性評価についてお話しいただき、また、特別講演として日本製粉(株)の日野明寛先生には機能性食品お

よびそれに含まれる機能性成分についてお話しいただきました。いずれの発表においても、学生および教員から多くの質問があり、活発な議論がなされました。最後に松田先生から本プロジェクトの目指すべき方向性を確認するとともに閉会の挨拶をいただきました。



文責：松田久司（研究代表者）

文部科学省 私立大学戦略的研究基盤形成支援事業
**優良和薬の確保・供給のための研究
キックオフシンポジウム**

日時: 11月12日(木) 15:30~18:10
会場: 京都薬科大学 A21講義室(愛学館2階)

15:30~15:35 開会挨拶

後藤 直正(京都薬科大学・副学長)

15:35~15:45 プロジェクトの概要について

15:45~16:10 アマチャの新規生体機能

研究代表者: 松田久司(生薬学分野・教授)

16:10~16:35 高血圧の非薬物療法

中田 徹男(臨床薬理学分野・教授)

16:35~17:00 頻用生薬の優良品種選抜にむけた機能性成分の探索

—サイコ・センキュウ・チョウトウコウ—

森川 敏生(近畿大学薬学総合研究所・教授)

17:00~17:10 休憩

17:10~18:10 特別講演

変化した食品の機能性表示と次世代機能性研究

日野 明寛(日本製粉㈱)中央研究所副所長、新潟大学客員教授、(独)農業・食品産業技術総合研究機構フェロー)

18:10 閉会

プロジェクトの概要

漢方薬の原料生薬は8割以上を中国に依存していますが、生産・供給不足と価格の急激な上昇によって、低品質のものが流通しています。このような背景のもと、日本での優良品種の栽培、生産が急務となっていますが、優良品種の現代科学的根拠が曖昧なままとなっています。本プロジェクトでは、漢方薬の重要な構成生薬である当帰や柴胡、日本民間薬の甘茶、延命草など日本産生薬(和薬)の基原植物の栽培、薬理作用、メタボローム解析、有効成分群の解明を行うことによって、優良生薬の生産を目的とした優良品種の選別と情報提供を目指しています。

〒607-8412 京都市山科区御陵四丁野町1
京都薬科大学 生薬学分野 松田久司
TEL. 075-595-4633, 4634 FAX. 075-595-4768
E-mail: matsuda@mb.kyoto-phu.ac.jp

薬学の未来をつくる
京都薬科大学
KYOTO PHARMACEUTICAL UNIVERSITY